

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
交流観光政策論				中尾 誠二	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	3 年次	講義	無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>定住人口の増加が難しくなった多くの地域において、交流人口の増加を目指した取組が進められています。また、国からも観光立国推進基本法等に基づく各種の政策が打ち出され、大都市圏・地方圏を問わず様々な地域活性化策が講じられています。</p> <p>本科目では、交流や観光を切り口とした地域振興策について幅広い視点を持ちつつも、一般的な観光では見過ごされてきた地域資源（人や文化など）を活かした「交流型観光」に関する政策体系を重点領域とします。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 交流や観光に関する法体系や政策群について理解できるようになる。 2) 交流型観光に関する地域資源を見出すことができるようになる。 3) 地域資源を活かした交流型観光プランを策定することができるようになる。 					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	交流観光政策とは？				
第 2 回	観光立国推進基本法				
第 3 回	旅行業法				
第 4 回	旅館業法				
第 5 回	農山漁村余暇法				
第 6 回	都市と農山漁村の共生・対流				
第 7 回	子ども農山漁村交流プロジェクト				
第 8 回	食品衛生法、建築基準法、都市計画法、道路運送法				
第 9 回	シェアリングエコノミー問題				
第 10 回	インバウンド観光と通訳案内士				
第 11 回	エコツーリズム推進法・リゾート法				
第 12 回	地域資源と外部経済				
第 13 回	中小企業地域資源活用促進法				
第 14 回	六次産業化・地産地消法				
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
ニュースや新聞に絶えず目を向けておくこと					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
期末試験 講義ノート記載状況 受講態度	(40%) (40%) (20%)	秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している 良：おおよその説明はできており、かつ、問題点を理解している 可：しくみや問題点の説明において、最低限の水準を満たしている 不可：しくみや問題点が説明できていない
テキスト (Textbook)		【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		適宜紹介します
備考 (Other Information)		講義後は毎回ノートを提出してもらうため、バインダー（ルーズリーフ）方式のノートを用意すること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		研究室（4号館4F南側一番奥）前に掲示したTel/Mail等へ連絡もしくは在室時に直接面談